

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化国際課文化振興室長 早弓太 電話番号 0852-22-6776

事務事業の名称	芸術・文化の情報発信・収集事業	
目的	(1) 対象	市町村、文化団体、文化施設、県民等
	(2) 意図	文化団体の財政基盤や情報基盤を強化するとともに、県民に文化情報を提供し、文化活動の展開を容易にする。
事業概要	国等の芸術文化に対する助成情報等を収集し、広く県民に周知し、県内の芸術文化事業の育成を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	情報誌「キャッチ」発行部数	目標値		12,000.0	12,000.0	12,000.0	12,000.0	部
	式・定義	発行部数	実績値	12,000.0					
			達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	一般財団法人地域創造による文化活動助成への県内申請件数	目標値		4.0	4.0	4.0	4.0	件
	式・定義	申請件数	実績値	4.0					
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,523	2,565
うち一般財源 (千円)	10	58

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・国等の助成情報等は、市町村や文化団体、公立文化施設等の関連機関・団体に直接提供している。
- ・地域創造の助成金申請は平成22年度以降、毎年度、平均4件の申請がある。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

各種助成事業に関する情報を市町村や文化芸術団体等に周知することで、県民の文化芸術に関する興味を深め、鑑賞や参加する機会を増やし、ひいては自主的・創造的な活動の支援につながっている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

県・市町村の連携が不十分。

②困っている状況が発生している「原因」

県からの一方的な情報提供のみとなっている。
申請の可能性のある事業が市町村から県に情報提供されない。
⇒ 双方向の情報連絡が少ない

③原因を解消するための「課題」

県・市町村双方向の情報連絡の強化と文化芸術団体及びその活動の情報共有化

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・これまでどおり国等の助成情報等を市町村や文化団体、公立文化施設等の関連機関・団体に直接提供する。
- ・申請の可能性のある事業については積極的に市町村から県に情報提供してもらう。
- ・各種助成事業の活用状況(申請や採択など)を全ての市町村等にフィードバックする。(他の市町村でも採択事例が把握できる。)
- ・申請件数の少ない市町村等には積極的な利用を促す。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)